



2026年6月12日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
代 表 者 名 執行役社長 田 中 徹 也
(コード番号 5711 東証プライム市場)
問 合 せ 先 I R 室 長 長 嶋 康 太
(電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 2 - 5 2 9 0)

伸銅品事業における棒製品およびエコブラス鍛造品の製造・販売終了について

当社グループは、中期経営戦略において「資源循環ビジネスで未来を創る企業へ」を基本方針に掲げ、「量から質への転換」を通じた事業ポートフォリオの高度化に取り組んでおります。また、足元では抜本的構造改革を前倒しで実行しながら、将来成長に向けた事業基盤の整備を進めております。

このような取り組みのもと、伸銅品事業においては、市場環境や需要構造の変化が進む中、製品構成の最適化を図ることで、より強固な事業基盤の構築を進めております。今後の事業展開を見据え、製品ポートフォリオのさらなる最適化を図る観点から、棒製品およびエコブラス鍛造品の製造・販売を終了することといたしました。

本件は、中期経営戦略に基づく事業構造転換およびポートフォリオ再構築の一環であり、今後は高付加価値製品へのシフトを着実に進めてまいります。

詳細は、添付のプレスリリースをご参照ください。

以 上

伸銅品事業における棒製品およびエコプラス鍛造品の製造・販売終了について ―事業ポートフォリオの高度化に向けた取り組み―

三菱マテリアル株式会社は、マテリアル領域における事業ポートフォリオの見直しの一環として、伸銅品事業部が所管する棒製品およびエコプラス鍛造品（以下「本製品」）の製造・販売を終了することといたしました。

当社グループは、中期経営戦略において「資源循環ビジネスで未来を創る企業へ」を基本方針に掲げ、「量から質への転換」を通じた事業ポートフォリオの高度化に取り組んでおります。また、足元では抜本的構造改革を前倒しで実行しながら、将来成長に向けた事業基盤の整備を進めております。

このような取り組みのもと、伸銅品事業においては、市場環境や需要構造の変化が進む中、製品構成の最適化を図ることで、より強固な事業基盤の構築を進めております。

当社はこれまで、伸銅品事業における生産体制の最適化に向けて、堺工場と三宝製作所の統合による大阪製作所への再編を進めるなど、バリューチェーンの強化に取り組んでまいりました。そのうえで、大阪製作所を拠点として本製品の製造・販売を行ってまいりましたが、今後の事業展開を見据え、製品ポートフォリオのさらなる最適化を図る観点から、本製品の製造・販売を終了することといたしました。

本件は、中期経営戦略に基づく事業構造転換およびポートフォリオ再構築の一環であり、今後は高付加価値製品へのシフトを着実に進めてまいります。

三菱マテリアルグループは、「人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する」ことを「私たちの目指す姿」と定めています。今後も、高付加価値製品の提供を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、多様なニーズに応える柔軟な事業体制の構築により、伸銅品事業のさらなる発展を目指してまいります。

記

1. 対象製品 : 銅棒・銅合金棒・特殊黄銅棒・漁網用銅合金線 エコプラス鍛造品
2. 終了時期 : 2028 年 3 月末

*2027 年 11 月末に製造終了し、2028 年 3 月末をもって販売を終了いたします。なお、詳細についてはお客様へ順次ご案内いたします。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三菱マテリアル株式会社

広報室

TEL : 03-5252-5206